

第115回 日本病理学会総会
日本腎病理協会コンパニオンミーティング2026

Kidney Biopsy Pathology: Key Updates

病態理解の進歩・新規治療薬の出現で、腎病理診断も進化しています。今般進化著しい「微小変化型ネフローゼ症候群(MCNS)/巢状分節性糸球体硬化症(FSGS)スペクトラム」・「パラプロテイン関連腎障害」・「C3腎症」を基礎からわかりやすくエキスパートに解説頂きます。日常、腎病理専門医はもちろんのこと、腎病理は専門外だが診断に従事されている先生・腎病理に興味があるが日常腎病理に携わる機会がない先生にこそ興味を持って頂けるように演者に依頼しています。

皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

日時： 2026年4月16日(木) 19:00～20:30

会場： 第5会場(グランドメルキュール札幌大通公園 2F ハイネス)

司会 市立大津市民病院 病理診断科 益澤尚子
札幌徳洲会病院 病理診断科 柳内充

I. MCNS/FSGSの病理診断

板橋中央総合病院 病理診断科 長田道夫先生

2. パラプロテイン関連腎障害

香川大学 分子腫瘍病理学 伊吹英美先生

3. C3腎症の病理学的特徴と鑑別診断

東京慈恵会医科大学 病理学講座/病院病理部 本間志功先生